

沖縄カトリック中学高等学校  
学校通信

# 野ばら 11月号

発行  
沖縄カトリック中学高等学校  
〒901-2215  
宜野湾市真栄原3-16-1  
TEL098-897-3300  
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>  
2016年11月1日(火)

## 「自分だけ心地よい」というのは無い

校長 夏見隆晴

最近の朝日新聞の夕刊「人生の贈り物」欄で、元国連難民高等弁務官の緒方貞子先生が「日本だけ心地よい（カンフォタブル）、ではられない」というお考えを述べておられました。—日本は内向きで「日本はすばらしい」というような本ばかり売れるようです。—と言う記者の問いかけに対して、先生のお答えは「すばしかなかったらそれを広めるということが一つの使命です」と述べられたうえで、「ほかの国も心地よくなると、いつかは、私たちも心地よくなる」と断言されておられました。日本とアメリカの小規模カトリック系大学に学ばれた後、本格的に学究の道を歩まれるために、さらに大規模大学院へと進まれた先生の体験から、自然にわき出たお言葉だと考えさせられました。

先生は、かつて在職されていた大学の講義や、多くの著作によって、本当に素晴らしいものを惜しむことなく提供し、広めてこられました。先生から教わった多くの若者たちが、先生の飽くことのない探究心と、その結果得られた成果をさらに深めていかなければという使命感を、己の心の中に植え付けて巣立っていったのです。人は他者から教わった善きものを、自分ひとりの奥深くにしまっておくということは、本当は難しいことなのですが、時にその心の狭さから門外不出にしてしまいます。その結果は、せっかく手に入れた宝をいつの間にか失ってしまったということになるのです。

人として生まれた私たちは、誰もが家族というものを構成して生きていきます。そして、家族という単位の中で成長していくのです。最初は誰もが子供として、次に親として、さらに知恵を有する老人として社会に参加し、国の発展に貢献する、その結果、日本という国家社会が成立しているのでしょう。確かに、現在の日本は世界的に見ても、優秀な国家の一つで、種々誇れる良い物を持っていると言ってもよいでしょう。でも、それらの良い物を、世界に向かって発信しようという日本人がどれだけいるかという、残念ながら自分自身を含めて「少ない」としか言いようがないでしょう。

さて、わたしたちのお預かりしている子供さんたちは、自分自身のことを「素晴らしい」と自覚して日々を送ってくれているのでしょうか。親に恵まれ、友達に恵まれ、多くの人たちによって支えられて、毎日を送ることのできる素晴らしさだけでは満足できず、不満に思っているということであれば、それは自分自身にとって不幸なことです。万が一、お子さんが「自分は素晴らしくなんか無い」と考えているようなら、今すぐ「自分は素晴らしく恵まれている」とお家の方々の前で、その考え違いを正すことが出来るまで、呪文のように唱えさせてみてください。「自分は素晴らしい」と自身を肯定できるようにならなければ、いつかは否定的な人間になってしまうと、特に若者は自覚することが肝要なのです。



## 息子の昆虫日誌

仲村俊也

先月、我が家の玄関先にめずらしいお客さんが迷い込んできました。オスのクワガタです。初めての出来事で、どこからきたのだろうと不思議に思いながらも、手にとって見ると、小さな体からは信じられないほどの力で指につかまり、威嚇するしぐさを見せます。しばらくの間、童心に返り戯れていたのですが、この気持ちを子供たちと共有しようと持っていくと、やっぱり男の子。一番強く興味を示してくれたのが息子でした。そして、最後には「飼いたい」の一言。父親としては嬉しい反面、過去の昆虫飼育で我が家に起きた事件を思い浮かべます。

学校からオオゴマダラの幼虫を持ってきた息子は、家につくなり箱に幼虫がいないことに気がきます。探すことを早々とあきらめ、本人は別のことに夢中です。本人以外、幼虫が家の中のことを知らないまま、次に発見したのが我が家で青虫の苦手な女性陣だから、もちろん大パニック！他にも、虫取りに夢中になり、小さな虫かご内では、セミ、バッタ、カマキリが大パニック！なんてことも。

このように、まだまだ手荒で、熱しやすく冷めやすい性格もあり心配でしたが、これも学びだと思い、飼育を開始しました。初めの1週間は、毎日のように箱から出しては遊んでいます。2週目からは徐々に餌やりを忘れてしまい、3週間後にはクワガタへの愛着は冷め、逃がしてやることに。最後まで責任を持って飼育することは出来ませんでした。生き物を扱う難しさを少しでも感じてくれたかなと思い、今回は良しとしました。

幼少期の生き物の接し方は、時に残酷に思えることもあります。しかし、いのちの尊さを学ぶにはそのような経験も必要だと思います。親としてできる限り、生き物と接する機会を与えていきたいと考えています。さて、息子が最近夢中になっている生き物は何という…ヤモリです。今日も、家に帰ったら、ヤモリを追いかけているのかな？



### の行事予定

日・曜日	行事計画
11月2日(水)	中学校：学力推移、高1・2：総合学力、高3：駿台マーク
3日(木)	文化の日
8日(火)	高1 PUP⑦
9日(水)	職員会議 小中交流会(小2・中1)
12日(土)	授業
16日(水)	午後：芸術鑑賞(組踊り)
19日(土)	授業 PUP⑦(中学)
22日(火)	文化祭前日準備
23日(水)	文化祭
24日(木)	文化祭振休
25日(金)	文化祭片づけ・クリスマス活動

# 文化祭を開催いたします

11/23(水)  
9:00~  
16:00



第  
10  
回

沖縄カトリック  
中学高等学校

文化祭



文化祭テーマ: Shine!

シャイン!



沖縄カトリック中学校  
沖縄カトリック高等学校

沖縄県宜野湾市真栄原3丁目16番1号  
TEL 098(897)3300



浜比嘉 美那 作

# 生徒の頑張り！

## ☆県科学作品展

優良賞 2年B組 伊佐 明香里さん

伊佐さんの作品は、青少年科学作品展へ出展されます。

